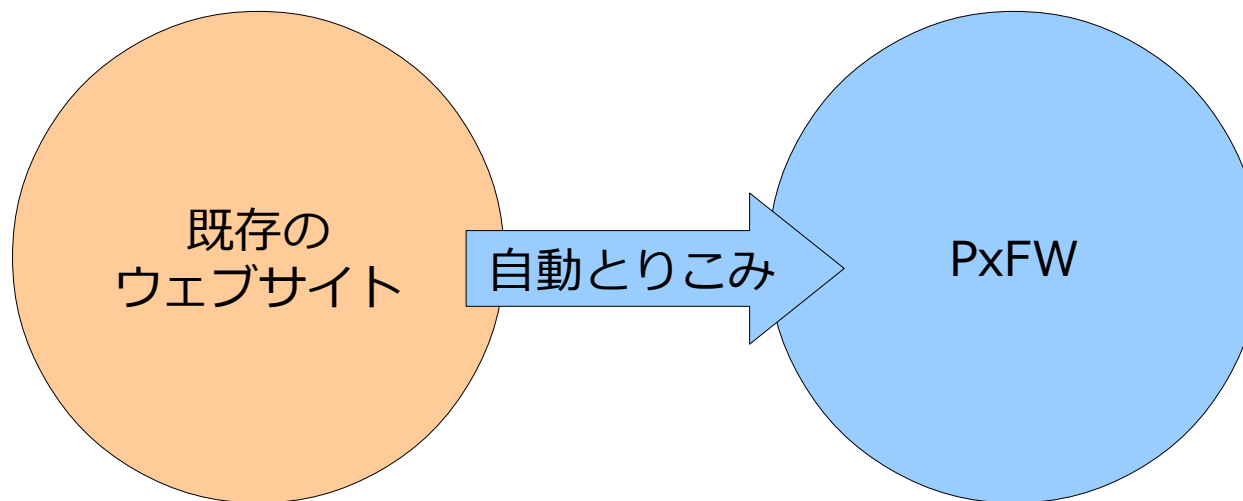

“ASADUKE” plugin (on PxFW)

Version 2013/1/24

“Pickles Framework” plugins

ウェブサイト リニューアル にかかる作業を 半自動化するツールです。



ネットワーク上の既存のウェブサイトを収集し、
Pickles Framework の規定の形式に
置き換えます。

自動取り込み処理のロジック

1. 既存のページをクローलし、HTMLを取得します。
2. 取得したHTMLをパースします。
3. コンテンツエリアのソースを取得し、PxFWのコンテンツファイルとして保存します。
4. コンテンツエリアに実装されているドキュメントモジュールのコーディング形式を、可能な限りPxFWの標準形式の構造に置き換えます。(DOM検索および置換)
5. ページが読み込んでいるCSSソースをパースし、PxFWの標準形式の構造に置き換えます。
6. titleタグ、メタタグ、パンくずなどのページ要素を読み込み、サイトマップCSVの行データを作成、反映します。
7. ページが読み込んでいるCSS、外部CSS、JavaScriptなどについて、テーマレベルで共通の要素か、コンテンツレベルで独自の要素かを判定し、コンテンツレベルの独自要素のみを抜き出し、コンテンツファイルに出力します。
8. ページに読み込まれている外部CSS, 外部JavaScript, 画像リソースのパスを検索し、クローल対象に追加します。
9. HTML中のリンクを検索し、クローल対象に追加します。
10. 以降、発見されたすべてのURLをクロールしおわるまで繰り返します。

1. スタートページURLの登録
2. 基本認証/ダイジェスト認証情報登録
3. コンテンツエリアを示すラッパー要素の検索ルール
4. パンくずを示すラッパー要素の検索ルール
5. 共通リソース(CSS、JavaScriptなど)のパス
6. 取り込み対象範囲とするパス
7. 取り込み対象外範囲とするパス
8. ドキュメントモジュールDOM置換ルール
9. titleタグからページタイトルを取り出す規則
10. HTMLパース規則毎に、適用する範囲のパスを設定、複数の規則を登録可能にする

などを設定できるようにする予定。

完全に共通の規則でコーディングされた
既存ウェブサイトの
リニューアル作業について、
初期セットアップ手順のうちの
70%(仮)
の自動化を目指します。